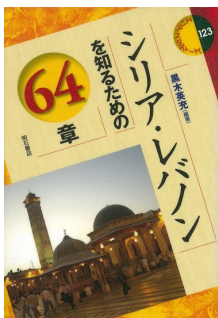
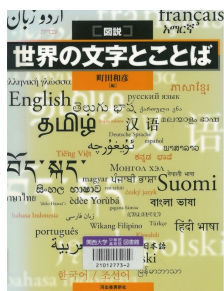


## シリアってどんな国 文化・宗教・歴史・言語・地理



『シリア・レバノンを知るための64章』  
黒木英充 明石書店 302/ク

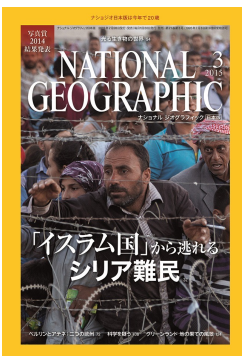
シリアとレバノンの深みのある文化を紹介。自然環境や歴史の歩みを通観し、社会構成を宗教宗派の点から把握。人々の暮らしや社会の生き生きとした動きを活写する。



『図説世界の文字とことば』  
町田和彦 河出書房新社 801/マ

ラテン文字、アラビア文字、インド系文字、漢字…。世界の45の言語を文字の系統・種類ごとに分類し、それぞれの文字とことばの特色・歴史を解説する。

## 最新情報 紛争・地震



ライブラリーでは2010年から保存している雑誌があります。その中でシリアの紛争について書かれている記事を時系列に読んでみると流れがわかるかもしれません。

『National Geographic ナショナル ジオグラフィック』  
日経ナショナルジオグラフィック社  
2014年3月号  
2015年3月号(画像の物)  
2018年3月号

他に、『月刊 Newsがわかる』毎日新聞出版 にも記事があります。

地震についての最新ニュースも、雑誌に載っています。

『月刊 Newsがわかる』毎日新聞出版 2023年4月号  
『月刊 ジュニアエラ』朝日新聞出版 2023年5月号  
『Newton ニュートン』ニュートンプレス 2023年5月号



国際理解図書通信

# シリア



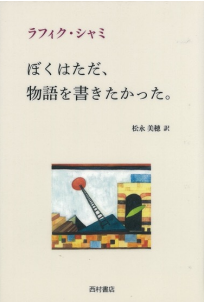
June, 2023 第9号 国際理解教育部・ライブラリー

今年の2月6日に発生したトルコ・シリア地震で甚大な被害が出た、シリアという国は一体どんな国なのでしょう？そんなシリアに関する書籍を一部ご紹介します！

シリアといえば「紛争」を連想する方も多いのではないでしょうか。今なお紛争が続くシリアの人々に、私たちに何ができるのかをぜひ考えてみてください！



## シリア人の声



『ぼくはただ、物語を書きたかった。』  
ラフィク・シャミ 西村書店 940.2/シ

1971年、ドイツに亡命したシャミは、いくつかの仕事を経たあと、作家として世界的な成功をおさめる。この著書では故郷シリアや、アラブの国々への思索、批判とともに文化や言語についても語っている。シリアという国を理解するのに適した一冊。

『わたしは13歳、シリア難民。故郷が戦場になった子どもたち』  
国境なき子どもたち/編 合同出版 369/コ

シリア紛争で家を追われた人びとは、国内外に1100万人ともいわれている。難民キャンプや、キャンプの外で出会った子どもたちを通して、シリアの現状を伝える。



## 難民問題

私たちに何ができるのか



『シリアの戦争で、友だちが死んだ』  
桜木武史 ポプラ社 302/サ

自分で行って、見て、戦争を伝える。紛争地を中心に取材活動をする著者が、紛争地取材を始めてからの大げげや大切なシリア人の友人を失った経験等を描き、なぜ取材を続けるのかを戦場ジャーナリストならではの目線で伝える。

『世界の難民をたすける30の方法』  
滝澤三郎 合同出版 369/タ

複雑な難民問題をできるだけわかりやすく解説した本。難民生活の実際や当事者の声を通じて難民問題を理解し、支援の具体的なアクションを起こすためのヒントを伝える。

